



Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション のモニタリング

- [Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション アシュアランス \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Wide Area Bonjour アシュアランスの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボード \(2 ページ\)](#)
- [サブドメイン 360° \(6 ページ\)](#)
- [Wide Area Bonjour モニター \(9 ページ\)](#)

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション アシュアラン ス

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、包括的なアシュアランス機能をサポートしています。これは、SDG エージェントロールのネットワーク全体に分散された Cisco Catalyst および Cisco Nexus スイッチ、および Wide Area Bonjour ドメイン上で検出された mDNS サービスを使用してサービスルーティングを管理します。さまざまなレベルでサービスルーティングの状態や mDNS サービスの状態などを判断し、Day-2 運用、分析、およびトラブルシューティングに対応できます。この章では、さまざまなサービス ルーティング アシュアランスのサポート機能を備えた Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを管理するためのガイドラインを提供します。

Cisco Wide Area Bonjour アシュアランスの概要

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、日常の運用向けのマルチレベルアシュアランス機能をサポートしています。この機能のサービスルーティング、インスタンスモニタリング、管理、およびトラブルシューティングは、3つの主要なカテゴリに分類されます。各カテゴリは、Day-2 運用時の Wide Area Bonjour サービスルーティングを管理およびトラブルシューティングするための独自の機能を提供します。モニタ機能は、次のカテゴリで構成されます。

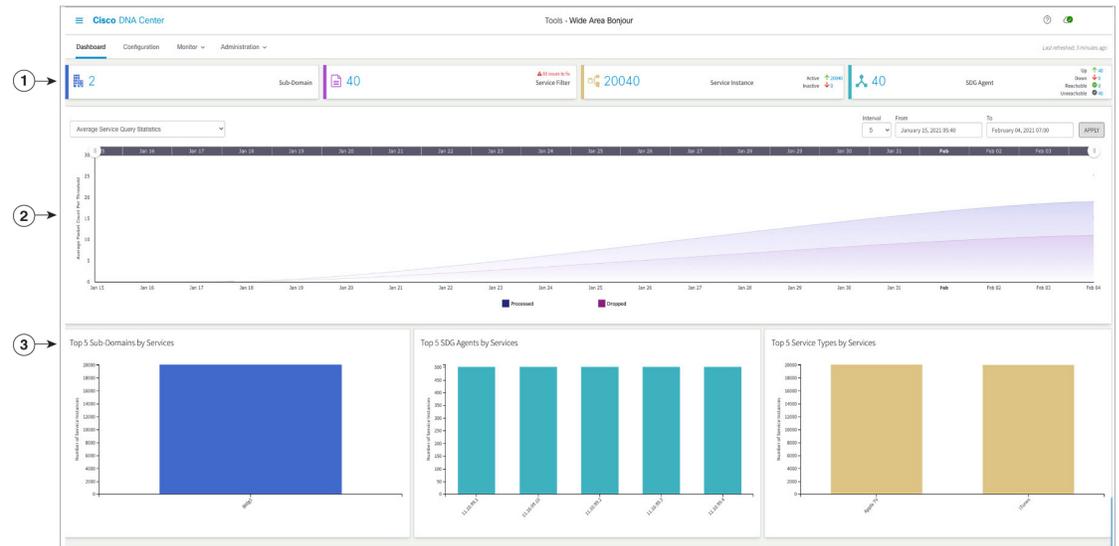
- **[Dashboard]** : Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのランディングページで、ネットワーク全体のサービスルーティングの状態をすばやく判断するための主要な統計情報がさまざまな形式で表示されます。ネットワーク管理者は、SDG エージェントデバイスによるサービスルーティングの動作ステータス、サービス検出要求の履歴チャート、ネットワーク全体に分散されたデバイスからの処理とドロップ、ネットワーク全体で上位5つのトップトーカーを監視できます。
- **Sub-Domain 360°** : ネットワーク管理者は、360° ビューで統計情報とステータスカウントを収集できます。サブドメインをクリックすると、左パネルのモニタリングと設定用のバーが自動的に表示されます。設定済みのポリシーと検出されたサービスインスタンスは、**[Configuration]** セクションでサブドメインごとに確認できます。
- **[Monitor]** : さまざまな Day-2 運用の包括的な3層モニタリングおよびトラブルシューティング機能を使用できます。ネットワーク管理者は、SDG エージェントの詳細な表示、サービスインスタンス、および高度なトラブルシューティング機能を使用して、Cisco DNA Center の単一のペインで Wide Area Bonjour ドメインを管理およびトラブルシューティングできます。

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボード

Cisco Wide Area Bonjour ダッシュボードは、サービス数に関するリアルタイムの集約情報と、Wide Area Bonjour ドメイン全体のトップトーカーと組み合わせた状態の可視性を表示します。Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのホームページは3つのレイアウトに分かれており、Wide Area Bonjour ドメインの全体的な正常性の主要な指標を表示します。これらのドメインは、SDG エージェントデバイスの到達可能性、サービスルーティングステータス、およびクエリ統計をリアルタイムで表示します。

次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのダッシュボードを示しています。

図 1: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボード



1	ダッシュレット	3	トップトーカー
2	サービスのクエリ		

次の表で、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボードの機能について説明します。

表 1: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション ダッシュボードの機能

管理	機能
ダッシュレット	<p>ダッシュレットは、ポリシー設定とグローバル サービス ルーティング ステータスの簡単な統計ビューを提供します。ダッシュレットは、独自のサービスアシュアランス機能を提供する次のカテゴリに分類されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Subdomain] : Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションで構成されたサブドメインの総数。サブドメインはネットワークデバイス、ポリシー、および mDNS サービスの論理グループです。Bldg-1 などのエンタープライズ ネットワークの場所で表すことができます。 • [Service Filter] : Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのすべてのサブドメインにわたって構成されたサービスフィルタポリシーの総数。サービスフィルタの数には、アクティブなポリシーと非アクティブなポリシーが含まれます。 • [Service Instance] : Wide Area Bonjour ドメイン全体のすべての SDG エージェントスイッチから動的に検出されたサービスインスタンスの総数。サービスインスタンス数には、アクティブなエントリと非アクティブなエントリが含まれます。 • [SDG Agent] : アシュアランス情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • サービスルーティングが動作状態で、稼働状態にある SDG エージェントスイッチの総数。 • サービスルーティングが非動作状態で、ダウン状態にある SDG エージェントスイッチの総数。 • IP 接続が動作している REACHABLE 状態の SDG エージェントスイッチの総数。 • IP 接続が動作していない UNREACHABLE 状態の SDG エージェントスイッチの総数。

管理	機能
サービスクエリ - 平均統計	<p>Cisco DNA Center が各 SDG エージェントから受信した mDNS サービスクエリメッセージの平均数の履歴チャートビューを提供します。SDG エージェントは、これらのメッセージを送信して、ローカルに接続された有線または無線エンドポイントのサービスを検出します。日付、時間範囲、および分間隔に基づいてグラフを調整して、提供された時系列内でより深く、きめ細かい統計カウンタを提供できます。2 層の平均サービスクエリチャートは、次の統計を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Processed] : Cisco Wide Area Bonjour は、ポリシー許可および各クエリ SDG エージェントへの発信サービス配布と正常に一致した着信サービス ディスカバリ リクエストの完了フローについて処理済みとして分類およびマークします。 • [Dropped] : Cisco Wide Area Bonjour は、着信サービス ディスカバリ リクエストおよびポリシーのアクセス許可にクエリを実行している各 SDG エージェントとの不一致があると、ドロップ済みとして分類およびマークします。
サービスクエリ - 累積統計	<p>Cisco DNA Center がすべての SDG エージェントから受信した mDNS サービスクエリメッセージの合計数または累積数の履歴チャートビューを提供します。SDG エージェントは、これらのメッセージを送信して、ローカルに接続された有線または無線エンドポイントのサービスを検出します。日付、時間範囲、および分間隔に基づいてチャートを調整して、提供された時系列内でより深く、決め細かい累積統計カウンターを提供できます。2 層の平均サービスクエリチャートは、次の統計を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Processed] : 着信サービス ディスカバリ リクエストの完了フローについて Cisco Wide Area Bonjour が処理中として分類およびマークした集計された統計は、クエリを実行しているすべての SDG エージェントのポリシー許可および発信サービス配布と一致します。 • [Dropped] : Cisco Wide Area Bonjour が着信サービス ディスカバリ リクエストおよびポリシー許可についてドロップ済みとして分類およびマークした集計された統計は、クエリを実行しているすべての SDG エージェントに対して不一致があります。

管理	機能
Top Talkers	<p>Wide Area Bonjour ドメイン全体のトップトーカーの棒グラフ。トップトーカーチャートは、インスタンス、場所、およびタイプごとの全体的なサービススケール数を決定するために、次のカテゴリに分類されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Top Subdomain] : Wide Area Bonjour ドメイン内の上位 5 つのサブドメインで、最大の mDNS サービスインスタンス数をアドバタイズします。サービスインスタンスの合計数は、1 つ以上の SDG エージェントスイッチをソースとする可能性のある集計値です。 • [Top SDG Agent] : mDNS サービスインスタンス数を最も多くアドバタイズする Wide Area Bonjour ドメインの上位 5 つの SDG エージェントスイッチ。サービスインスタンスの合計数は、1 つ以上のダウンストリーム サービス ピア デバイスをソースとする可能性のある集計値です。 • [Top Service Instance] : サービスインスタンス数が最も多い Wide Area Bonjour ドメインの上位 5 つの mDNS サービスタイプ。サービスタイプ別のサービスインスタンスの合計数は、ネットワーク内の複数のサブドメイン、SDG エージェント、およびサービスピアデバイスを送信元とする可能性があります。

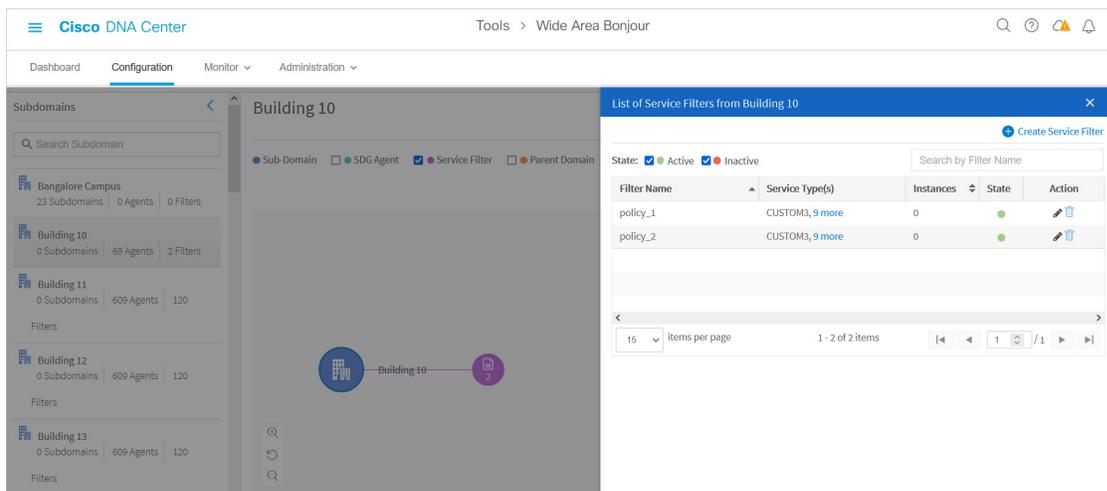
サブドメイン 360°

ネットワーク管理者は、サブドメインと関連パラメータの 360° 統計ビューを [Configuration] タブから取得できます。360° 統計は、ダッシュボード上でグローバルレベルの視覚化ではなく、個々のサブドメインレベルで情報を提供します。サブドメインの 360° ビューでは、階層ドメイン構造のさまざまなレベルをナビゲートし、ポリシー設定、サービスインスタンス数などの集約された統計を確認できます。

サブドメインの 360° ビューは、選択したサブドメインのサービスフィルタポリシーと SDG エージェントの 2 レベルのパラメータにグループ化できます。

次の図は、サービスフィルタ統計のサブドメイン 360° ビューを示しています。

図 2: サービスフィルタのサブドメイン 360° ビュー



サービスフィルタのサブドメイン 360° ビューを開くには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2 サイドバーからサブドメインを選択します。
- ステップ 3 [Service Filter] チェックボックスをオンにして階層を展開し、選択したサブドメインの集約されたサービスフィルタカウントを確認します。
- ステップ 4 [Service Filter] アイコンをクリックして 360° パネルを開き、新しいサービスフィルタを作成するか、次に示すような、既存のサービスフィルタに関する情報を確認します。

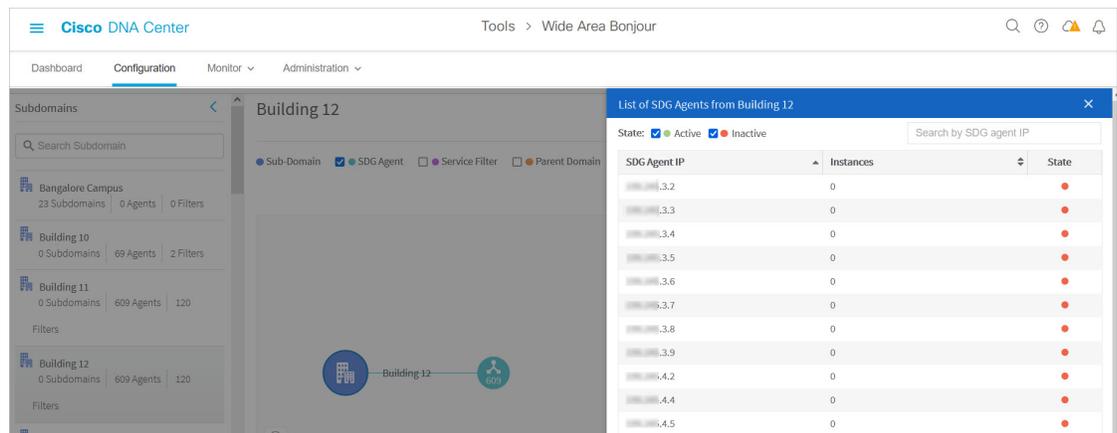
管理	機能
Filter Name	選択したサブドメインのユーザー定義サービスフィルタ名を表示します。
Service Type(s)	設定されたサービスフィルタで許可されている 1 つ以上のサービスタイプの折りたたまれたリストを表示します。もう一度クリックして、展開されたリストを確認します。
Instances	選択したサービスフィルタで許可されている集約されたサービスインスタンス数を表示します。
State	<p>選択したサービスフィルタのステータスを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑：サービスフィルタはアクティブであり、Wide Area Bonjour ドメインでサービスルーティングを実行できます。 • 赤：サービスフィルタは非アクティブであり、Wide Area Bonjour ドメイン内のサービスルーティングに対してネットワーク管理者によって無効にされています。
Action	鉛筆アイコンをクリックして、既存のサービスフィルタを更新します。サービスフィルタを削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。

管理	機能
Active	サービスフィルタリストのフィルタリング条件を [Active] にする場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Inactive	サービスフィルタリストのフィルタリング条件を [Inactive] にする場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Search	正確な名前または頭文字でサービスフィルタを検索します。
Items per Page	ページあたりのサービスフィルタ数を表示します。指定できる範囲は 15 ~ 75 です。デフォルトは 15 です。

SDG エージェントのサブドメイン 360° ビュー

次の図は、SDG エージェント統計のサブドメイン 360° ビューを示しています。

図 3: SDG エージェントのサブドメイン 360° ビュー



SDG エージェントのサブドメイン 360° ビューを開くには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2** サイドバーからサブドメインを選択します。
- ステップ 3** [SDG Agent] チェックボックスをオンにして階層を展開し、選択したサブドメインの集計された SDG エージェント数を確認します。
- ステップ 4** [SDG Agent] アイコンをクリックして 360° パネルを開き、次のように既存の SDG エージェントの集計された統計とステータスを確認します。

管理	機能
SDG Agent IP	選択したサブドメインの SDG エージェントスイッチとのサービスルーティング用に Cisco Wide Area Bonjour とペアになっている IPv4 アドレスを表示します。

管理	機能
Instances	送信元ロールで設定された SDG エージェントから学習した集約されたサービスインスタンス数を表示します。
State	Cisco DNA Center と SDG エージェントスイッチ間のサービスルーティング ステータスを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑：SDG エージェントは到達可能であり、サービスルーティングは Wide Area Bonjour ドメイン内の mDNS サービスをアダプタイズおよびクエリするための動作状態にあります。 • 赤：SDG エージェントは到達可能または到達不能であり、サービスルーティングは動作していません。
Active	アクティブ状態を条件に SDG エージェントリストをフィルタリングするには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Inactive	非アクティブ状態を条件に SDG エージェントリストをフィルタリングするには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Search	SDG エージェントの IPv4 アドレスを入力してアドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。
Items per Page	ページあたりの SDG エージェント数を表示します。指定できる範囲は 15 ~ 75 です。デフォルトは 15 です。

Wide Area Bonjour モニター

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、[Monitor] タブで Day-2 操作の詳細なアシユアランス機能を提供します。[Monitor] セクションは、3つの主要なカテゴリに分かれています。各カテゴリは、Cisco DNA Center で単一の窓口からサービスルーティングとインスタンスを管理するための固有の情報を提供します。

SDG エージェントのモニタリング

[Monitor] > [SDG Agents] 機能は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのサービスポリシーに関連付けられたネットワークデバイスのリストを提供します。詳細ビューには、通信パス、ロール、状態などが表示されます。ネットワーク管理者は、動作状態をすばやく判断し、選択した送信元 SDG エージェントからサービスインスタンスを手動で同期できます。

次の図は、関連付けられた各 SDG エージェントを、グローバル サービスルーティング用の Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでモニタリングする方法を示しています。

図 4: SDG エージェントのモニタリング

ネットワーク管理者は、次に説明するように、ネットワーク内の関連付けられた各 SDG エージェントスイッチのステータスをモニタリングおよび管理できます。

表 2: SDG エージェント機能のモニタリング

管理	機能
SDG Agent IP	Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでのサービスルーティング用に Cisco DNA Center とペアになっている SDG エージェントの IPv4 アドレス。
Management IP	デバイス管理用の Cisco DNA Center ネットワークインベントリとペアになっている SDG エージェントスイッチの IPv4 アドレス。
Source Interface	Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでのサービスルーティングのために選択された SDG エージェントで使用されるソースインターフェイス ID (ループバックなど)。
Domain	選択した SDG エージェントがサービスルーティングをサポートするために関連付けられているサブドメイン名。
Service Filter(s)	選択した SDG エージェントスイッチに関連付けられた 1 つ以上のサービスフィルタの折りたたまれたビュー。[more] をクリックすると、完全なリストが表示されます。

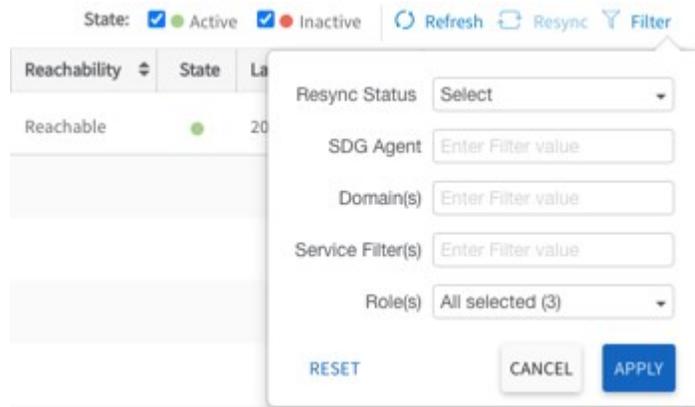
管理	機能
Role(s)	<p>SDG エージェントロールは、複数のサービスフィルタ全体で [Source] または [Query] として検証できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Source] : 選択された SDG エージェントは、サービスプロバイダー (Apple TV など) を接続し、mDNS サービスインスタンスを Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションにアナウンスすることが期待されています。 • [Query] : 選択された SDG エージェントは、サービスクエリア (Apple iPad など) を接続し、mDNS サービスインスタンスを Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションにクエリすることが期待されています。
Available Services	<p>選択した送信元 SDG エージェントスイッチから動的に受信したサービスインスタンスの合計数。合計数には、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのアクティブ状態と非アクティブ状態のサービスインスタンスが含まれます。</p>
Reachability	<p>Cisco DNA Center と選択した SDG エージェントスイッチ間の IP 到達可能性。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : 選択した SDG エージェントは到達可能であり、Cisco DNA Center デバイスインベントリで管理状態にあります。 • 赤 : 選択した SDG エージェントは到達不可能であるか、Cisco DNA Center デバイスインベントリで管理状態に到達できませんでした。
State	<p>Cisco DNA Center と SDG エージェントスイッチ間のサービスルーティング ステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : SDG エージェントは到達可能であり、サービスルーティングは Wide Area Bonjour ドメイン内の mDNS サービスをアドバタイズおよびクエリするための動作状態にあります。 • 赤 : SDG エージェントは到達可能または到達不能であり、サービスルーティングは動作していません。
Last Sync	<p>Cisco Wide Area Bonjour が自動または手動で mDNS サービスインスタンスを 1 つ以上の送信元 SDG エージェントスイッチと同期した最後の日時。</p>

管理	機能
Resync	<p>Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを使用すると、ネットワーク管理者は、mDNS サービスインスタンスを1つ以上の選択された送信元SDGエージェントスイッチと手動で同期できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最初の列のチェックボックスをオンにして、ソースロールの1つ以上のSDGエージェントを選択します。 2. SDG エージェントテーブルの右上にある [Resync] ボタンをクリックします。
Resync Status	<p>Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションとネットワーク内の送信元SDGエージェントスイッチ間のmDNS サービスインスタンスの再同期ステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Successful] : 完全な mDNS サービスインスタンスと、それぞれの情報が Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションとネットワーク内の選択された送信元SDGエージェントスイッチの間で完全に同期されています。 • [In Progress] : Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションとネットワーク内の選択された送信元SDGエージェントスイッチとの間で mDNS サービスインスタンスの同期が進行中です。 • [Failed] : Cisco Wide Area Bonjour は1つ以上の送信元SDGエージェントスイッチを使用して、割り当てられた時間内にサービスインスタンス情報の再同期を完了できませんでした。 • [Not Initiated] : 送信元SDGエージェントとのサービスルーティングが非動作状態にあるか、SDG エージェントがクエリロールで、サービス インスタンス レコードの再同期が必要ありません。
Active	<p>アクティブ状態を条件にSDG エージェントリストをフィルタリングするには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。</p>
Inactive	<p>非アクティブ状態を条件にSDG エージェントリストをフィルタリングするには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。</p>
Items per Page	<p>ページあたりのSDG エージェント数。指定できる範囲は15～75です。デフォルトは15です。</p>

SDG エージェントフィルタ

大規模なエンタープライズ ネットワーク環境では、ネットワーク管理者は SDG エージェントリストを可変パラメータでフィルタリングできます。次の図は、SDG エージェントフィルタを示しています。

図 5: SDG エージェントフィルタ



ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションで、[Monitor] タブに移動します。

ステップ 2 ドロップダウンメニューを展開し、[SDG Agent] を選択します。

ステップ 3 SDG エージェントテーブルの上にある [Filter] をクリックします。

ステップ 4 次の表の説明に従ってフィルタ条件を選択します。

管理	機能
Resync Status	[Single]、[Multiple]、または [All] を選択して、現在の再同期ステータスによって送信元 SDG エージェントをフィルタリングします。
SDG Agent	Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションでのサービスルーティングに使用される送信元 SDG エージェントの IPv4 アドレス。
Domain(s)	SDG エージェントがサービスルーティングをサポートするために関連付けられているサブドメイン名。
Service Filter(s)	SDG エージェントがサービスルーティングをサポートするために関連付けられているサービスフィルタ名。
Role(s)	[Source]、[Query]、または [All] を選択して、設定されたロールで SDG エージェントをフィルタリングします。

ステップ 5 [Apply] をクリックします。

サービスインスタンスのモニタリング

Cisco DNA Center は、送信元 SDG エージェントスイッチとのサービスルーティング通信を介して、ネットワーク全体のサービスインスタンスを動的に検出します。[Service Instance] ウィンドウには、各インスタンスの詳細情報と、Wide Area Bonjour ドメイン内のそれぞれのアドレス、場所、およびルーティング状態が表示されます。

次の図は、グローバル サービス ルーティングの Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを使用して、送信元 SDG エージェントから動的に検出された mDNS サービスインスタンスをモニタリングする方法を示しています。

図 6: サービスインスタンスのモニタリング

ネットワーク管理者は、次の表に示すように、ネットワーク内の関連付けられた各サービスインスタンスのステータスをモニタリングおよび管理できます。

表 3: サービスインスタンス機能のモニタリング

管理	機能
Name	<i>FLI-Printer</i> など、Wide Area Bonjour ドメイン全体の mDNS サービスプロバイダーがアナウンスしたインスタンス名。
Instance Suffix	アナウンスされた元の mDNS インスタンス名にネットワーク管理者が追加したテキスト。たとえば、 <i>Zone1</i> サフィックスが元のインスタンス名 <i>FLI-Printer</i> に追加され、 <i>FLI-Printer-Zone1</i> になります。
Domain(s)	サービスインスタンスが動的に検出されるソースサブドメイン名。

管理	機能
Service Filter(s)	ポリシーが検証されるサービスフィルタの名前、および有効な送信元 SDG エージェントスイッチから受け入れられたサービスインスタンス。
SDG Agent IP	選択したサービスインスタンスの送信元 SDG エージェントスイッチの IP アドレス。
Service Type(s)	選択したサービスインスタンスのサービスタイプの折りたたまれたビュー。[more] をクリックすると、完全なリストが表示されます。
Peer ID	ファーストホップ Catalyst スイッチの IPv4 アドレス、またはサービスプロバイダーに直接接続されているサービスピアロールのワイヤレスコントローラ。このピアは、中間の送信元 SDG エージェントスイッチを介して Wide Area Bonjour ドメイン内の mDNS サービスをアナウンスします。サービスプロバイダーから学習したサービスインスタンスが SDG エージェントに接続されている場合、または SDG エージェントが中間レイヤ 2 mDNS フラッドデバイスに接続されてサービスプロバイダーに到達している場合、エント리는空です。
Location Group ID	サービスインスタンスのロケーショングループ ID。
VNI ID	オーバーレイ VXLAN トンネルエンドポイント (VTEP) または境界ネットワークロールの SDG エージェントからの BGP EVPN レイヤ 2 または レイヤ 3 仮想ネットワーク ID (VNI) を送信元とする mDNS サービスインスタンス。
VLAN ID	特定のユニキャストモードレイヤ 2 VLAN ID の送信元 SDG エージェントから検出された mDNS サービスインスタンス。mDNS フラッドモードから検出されたサービスインスタンスは空です。
TTL	Wide Area Bonjour ドメイン内の送信元 SDG エージェントスイッチによってアナウンスされた mDNS サービス インスタンス レコードの存続可能時間 (TTL) 値。
Instance IPv4	選択した送信元 mDNS サービスインスタンスによって mDNS A レコードでアナウンスされた IPv4 アドレス。
Instance IPv6	選択した送信元 mDNS サービスインスタンスによって mDNS AAAA レコードでアナウンスされた IPv6 アドレス。
MAC Address	送信元 SDG エージェントによって検出され、アナウンスされた送信元の mDNS サービスプロバイダーの MAC アドレス。

管理	機能
State	<p>mDNS サービスインスタンスは、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションで次のルーティング状態を維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Active] : 選択した mDNS サービスインスタンスは、送信元情報で利用可能であり、Wide Area Bonjour ドメインでクエリを実行すると配布されます。 • [Inactive] : 選択した mDNS サービスインスタンスは、送信元情報からは利用できず、Wide Area Bonjour ドメインでクエリを実行しても配布されません。
Active	[Active]状態を条件に指定してサービスインスタンスリストをフィルタリングする場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Inactive	[Inactive]状態を条件に指定してサービスインスタンスリストをフィルタリングする場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの状態はオンです。
Items per Page	ページあたりのサービスインスタンス数。指定できる範囲は 15 ~ 75 です。デフォルトは 15 です。

サービス インスタンス フィルタ

大規模なエンタープライズネットワーク環境では、可変パラメータを使用してサービスインスタンスリストをフィルタリングできます。次の図は、サービス インスタンス フィルタを示しています。

図 7: サービス インスタンス フィルタ

State: Active Inactive |  Refresh  Filter

Label	Value
0	
1-10	

Name

Instance Suffix

Domain

Service Filter

SDG Agent IP

Service Type

Peer ID

VNI ID

VLAN ID

Instance IPv4

Instance IPv6

MAC Address

[RESET](#) [CANCEL](#) [APPLY](#)

ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションで、[Monitor] タブに移動します。

ステップ 2 ドロップダウンリストを展開し、[Service Instance] を選択します。

ステップ 3 サービス インスタンス テーブルの上にある [Filter] をクリックします。

ステップ 4 次のフィルタ条件のいずれかを選択します。

管理	機能
Name	正確なサービスフィルタ名で検索するか、頭文字で検索します。
Instance Suffix	正確なインスタンスのサフィックス名で検索するか、頭文字で検索します。
Domain(s)	正確なサブドメイン名で検索するか、頭文字で検索します。
Service Filter(s)	正確なサービスフィルタ名で検索するか、頭文字で検索します。
SDG Agent IP	SDG エージェントの IPv4 アドレスを入力してアドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。
Service Type(s)	正確なサービスタイプで検索するか、頭文字で検索します。
ピア ID	送信元サービスピアスイッチまたはワイヤレスコントローラ IPv4 アドレスを入力してアドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。
VNI ID	送信元 BGP EVPN レイヤ 2 またはレイヤ 3 VNI ID を入力して ID で検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。指定できる範囲は 4096 ~ 16777215 です。
VLAN ID	ユニキャストモードの送信元レイヤ 2 VLAN ID を入力して ID で検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
Instance IPv4	送信元サービスインスタンス IPv4 アドレスを入力してアドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。
Instance IPv6	送信元サービスインスタンス IPv6 アドレスを入力してアドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。

管理	機能
MAC アドレス	送信元サービスインスタンス MAC アドレス名を入力して MAC アドレスで検索するか、一致する複数桁の最初の数値を入力します。サポートされている形式は 00:00:00:00:00 です。

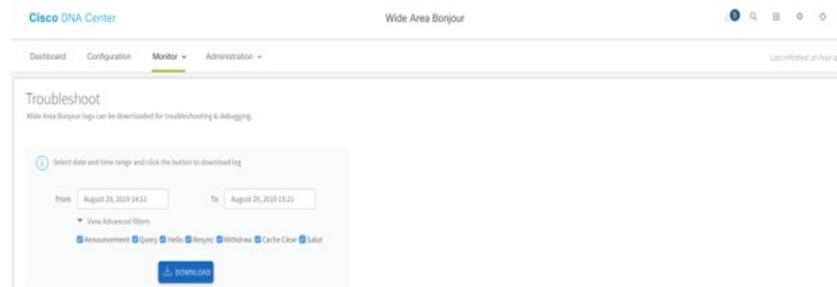
ステップ 5 [Apply] をクリックします。

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションのトラブルシューティング

Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、ネットワーク管理者がネットワーク内のサービスのルーティング、検出、および配布の問題をデバッグできるようにする組み込みのトラブルシューティング機能をサポートしています。日付と時刻の範囲に基づいて、さまざまなレベルで Cisco DNA Center バックエンドからトラブルシューティングログを収集できます。トラブルシューティング レポートは単純な CSV 形式で生成されます。ローカルにダウンロードして、選択したログレベルパラメータに基づいて問題を確認できます。

トラブルシューティング レポートは、シスコサポートと共有する際にも役立ちます。次の図は、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Troubleshoot] ウィンドウを示しています。

図 8: Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Troubleshoot] ウィンドウ



ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションで、[Monitor] タブに移動します。

ステップ 2 ドロップダウンメニューから、[Troubleshoot] を選択します。

ステップ 3 [From] と [To] を選択して、特定の日付範囲のログファイルをローカルコンピュータにダウンロードします。

ステップ 4 次の表の説明に従って高度なフィルタ条件を選択し、[Download] をクリックします。

高度なフィルタタイプ	説明
Announcement	SDG エージェントがアナウンスしたサービスが Cisco DNA Center で見つからない場合は、[Announcement] を選択します。

高度なフィルタタイプ	説明
Query	有線またはワイヤレスユーザーが Cisco DNA Center からのリモートサービスを表示できない場合は、[Query] を選択します。
Hello	Cisco DNA Center と SDG エージェント間のサービスルーティング ピアリングセッションが不安定であるか、確立できない場合は、[Hello] を選択します。
Resync	Cisco DNA Center から 1 つ以上の SDG エージェントへの手動サービス再同期がトリガーされたら、[Resync] を選択します。
Withdraw	発信元の SDG エージェントがサービスの取り消しメッセージを送信して、グローバルな配布を防ぐ場合に、[Withdraw] を選択して情報を収集します。
Cache Clear	手動の CLI ステップで SDG エージェントからのすべてのサービス取り消しメッセージのログを収集するには、[Cache Clear] を選択します。
Salut	SDG エージェントと Cisco DNA Center の間の最初の通信メッセージには [Salut] を選択します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。